

雇用と暮らしを守ろう

日立ジョンソンコントロールズ空調
と関連会社で働く
人のネットワーク



2020年11・12月
No. 87
発行：オアシス
編集委員会
連絡先：多田義幸
TEL
090-9121-0602

生産減少の状況

コロナ禍になって以降、生産が減少しています。その影響で、非正規雇用の方々の雇止め、および、残業のカットが行われています。コロナ禍による、販売の減少も原因ではありますが、果たしてそれだけが原因でしょうか。

生産減少の原因

コロナ以外の原因として、清水で生産していた部品の、海外への生産移管が挙げられます。この間、基板の製造を中国の無錫に移管、その他部品の海外からの調達強化が行われてきました。その結果、清水事業所での生産が減少しています。

海外調達が増える理由

国内生産よりも、海外生産の方が、価格が安いいため、海外生産の部品の適用が進められています。価格を安くできる理由としては、人件費が安いことが挙げられます。

日本の賃金は本当に高いのか？

日本の賃金は、下がり続けています。1997年＝100とした場合の「実質賃金指数」で見した場合、2019年には、89.1となっています。一方で、中国では、10年の間に約2.3倍に増加しています。従って、現状のまま中国の賃金が上昇すると、日本の賃金よりも高くなることが予想されます。

国内製造回帰を進める企業も

しかし、賃金面での日本不利な情勢はしばらく続く予想されます。このままでは、部品の海外品の適用から、順次適用範囲が拡大し、今後とも生産の縮小が続けられる可能性があります。

しかし、一方で、今回のコロナ禍により、中国からの輸入を中心に、部品の輸入が困難になることもあり、国内回帰を進める企業も出ています。経済産業省では、サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金を創設した。その中で、自動車用部品や自動車用金型などが支援先となりました。

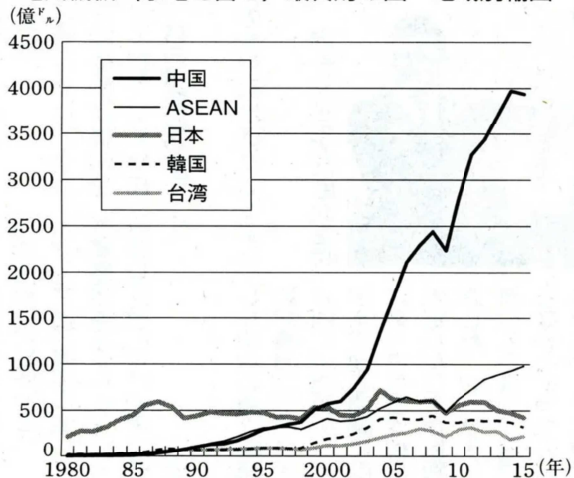
事業の継続を通して、

雇用と暮らしを守ろう

このように、海外部品の調達拡大は、海外の情勢に左右されやすく、生産を継続するための不安定要因になります。また、賃金格差も海外と縮小傾向から、価格メリットも小さくなりつつあります。また、雇用が減少することは、地域経済に及ぼす影響も大きいです。このような理由から、国内生産の維持向上は、求められるとところです。

事業の継続を通して、雇用と暮らしを守ることが求められています。

電気機械（家電を含む）最終財の国・地域別輸出



(経済産業研究所の貿易データベース「RIETI-TID2015」から坂本さん作成)